

# 防災都市・神戸の駅前防災拠点

---

1. 屋外の防災機能
2. バスターミナルの防災機能

# 1. 屋外の防災機能

## 1. 1 基本的な考え方・論点

### 基本的な考え方・論点

- 三宮駅周辺は、帰宅困難者等の集中による混乱や2次災害を抑制するとともに、公共交通機関の復旧までの安全を確保することが必要
- そのため、駅周辺の屋外空間においては、災害時にも対応可能な滞留空間の確保や、帰宅困難者に的確な情報を発信することが重要

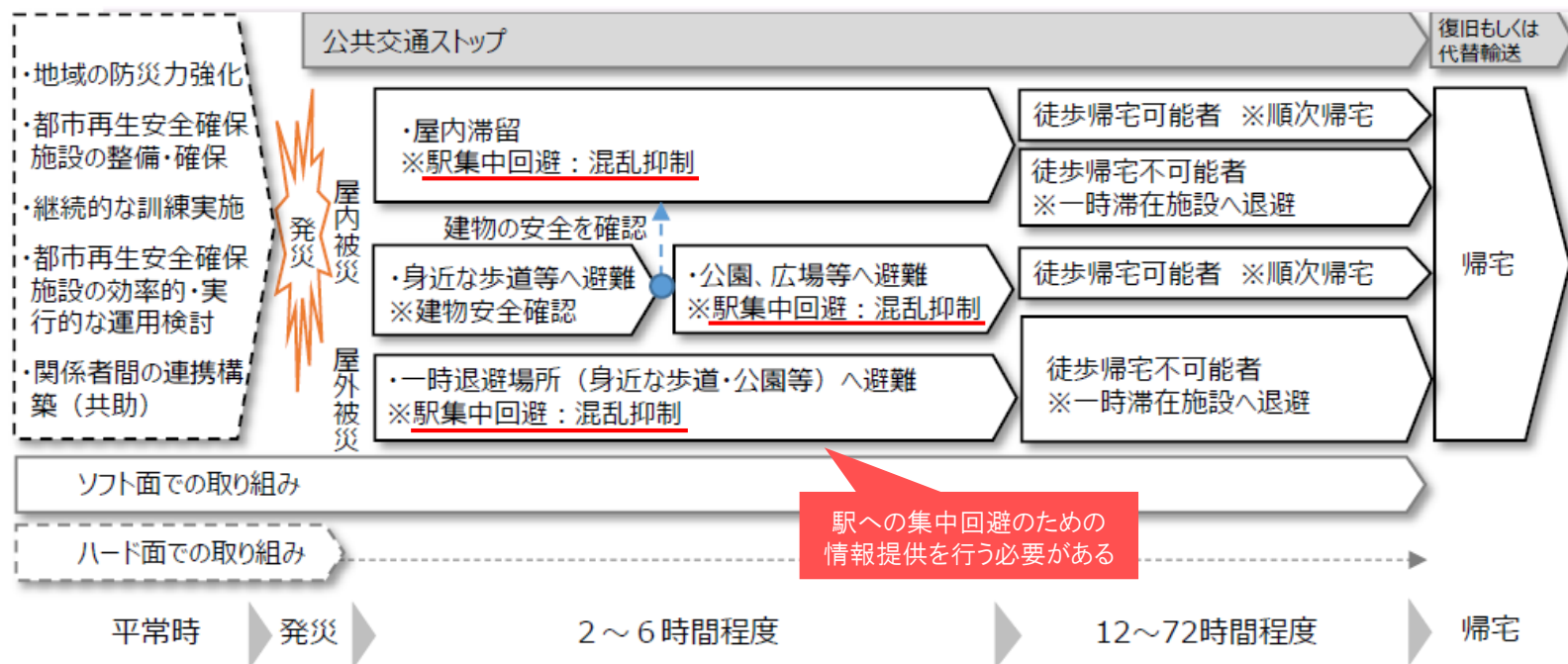
**⇒論点：屋外空間の役割と導入機能**

# 1. 屋外の防災機能

## 1. 2 検討にあたっての条件と課題

行き場のない帰宅困難者の駅周辺への集中を抑制するため、災害情報や公共交通機関の運行情報、一時退避場所・一時滞在施設の情報を提供する必要がある。

### ■ 平常時から発災後・帰宅までの流れ（三宮周辺地域都市再生安全確保計画より）



# 1. 屋外の防災機能

## 1. 3 情報提供場所としての活用

ミント神戸の大型ビジョンや今後の再整備で導入を検討するデジタルサイネージ等を活用して、災害情報、各種交通機関の運行情報や代替輸送に関する情報、また一時退避場所・一時滞在施設の  
情報提供等を行う。

### ■ 情報提供の方法（案）



## 2. バスターミナルの防災機能

### 2. 1 基本的な考え方・論点

#### 基本的な考え方・論点

- 帰宅困難者の鉄道等の代替輸送における新バスターミナルの活用を検討

⇒論点:代替輸送における新バスターミナルの活用方法

# 2. バスターミナルの防災機能

## 2. 2 検討にあたっての条件と課題

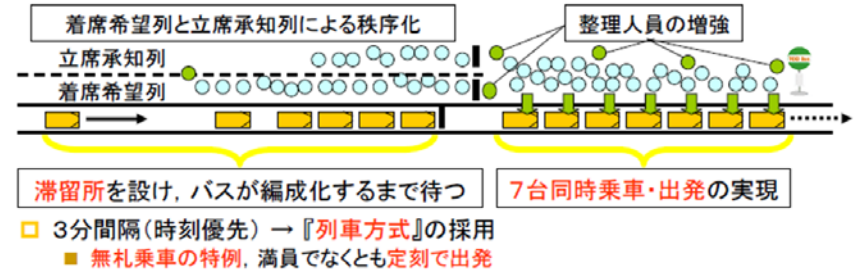
阪神淡路大震災時では、代行バス運行に際して、非常時のバス専用レーンの設置、降車場～乗車場の走行の円滑性の確保、バス待機場の設置による対応を行った。

### ■ 阪神淡路大震災時の鉄道の代行バス運行方法

<代行バスの折返しルート>



<「列車方式」による輸送方法>



### ■ 阪神淡路大震災時の代行バス運行時の課題と対応事例

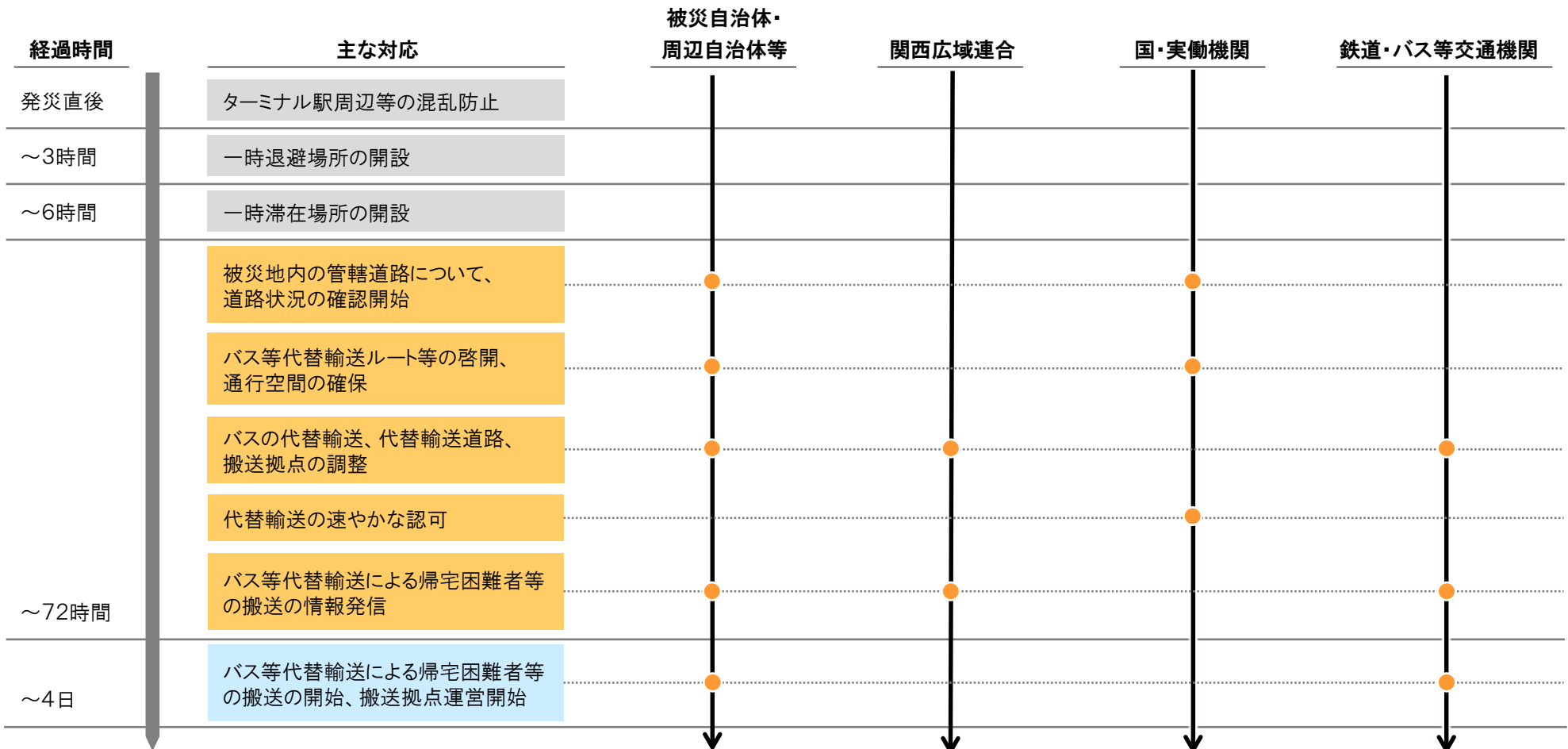
課題	対応事例
<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急物資輸送車両、廃棄物処理車両等の多くの緊急車両の被災地への流入に伴い、一般車両の流入が規制された<b>国道2号では渋滞が発生した</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス専用レーンを設置するとともに、「各駅停車便」と「直行便」をそれぞれ国道2号上と国道43号上を運行させた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スペースの関係上、バス専用レーンを設置できず、<b>回送区間(降車場～乗車場)の1kmを進むのに当初60分要した</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前ロータリーに進入して乗車場所まで回送した(左図緑色点線ルート)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「列車方式」によるバス運行に際して、バス編成化に必要な<b>“バス滞留所”の設置により、他の一般交通に影響を及ぼした</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復旧予定地や建設予定地を一時的に利用し、バス台数を調整するための“バス待機場所”を設置した</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の<b>乗車待ち空間が確保できる駅前広場がなかった</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅から数百m程度離れた道路に乗降場を設置した</li> </ul>

# 2. バスターミナルの防災機能

## 2. 2 検討にあたっての条件と課題

帰宅困難者対策について、発災直後から時系列に各機関の役割・対応手順を整理した「帰宅困難者対策オペレーションマップ・タイムライン」を参考に、バス等による代替輸送の検討が必要である。

■ 地震等発生からバスによる帰宅困難者の搬送開始までの流れ（帰宅困難者対策オペレーションマップ・タイムライン）



※救命・救急・救助活動が完了し、一斉帰宅抑制の必要がなくなった場合又は、道路被害状況が大きくなり、道路啓開が早く完了した場合は、このシナリオより前倒して帰宅支援を実施。

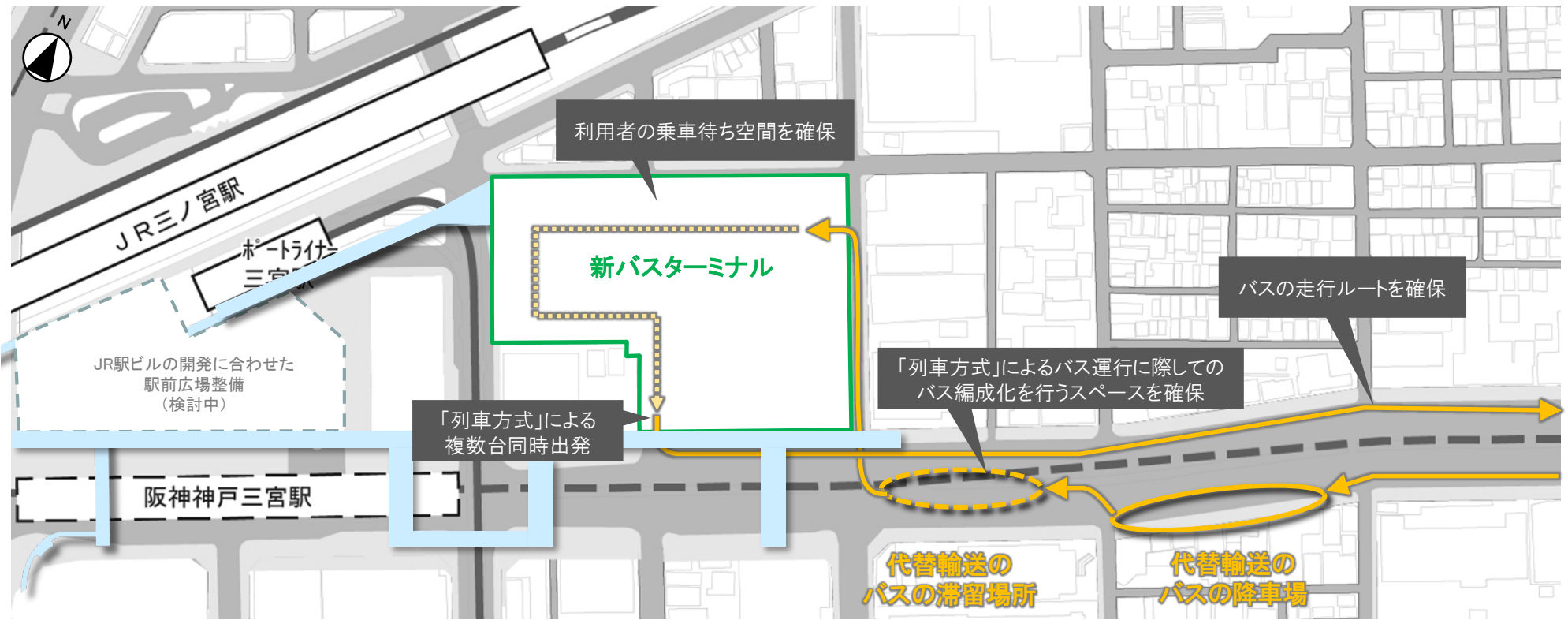
出典)R1. 7「関西広域帰宅困難者対策ガイドライン」の策定について(案)(関西広域連合広域防災局)をもとに作成

## 2. バスターミナルの防災機能

### 2. 3 代替輸送における新バスターミナルの活用

大規模災害時におけるバスの鉄道の代替輸送に際しては、周辺道路上に降車場とバス編成化を行うスペースを設置するとともに、新バスターミナルを乗車場として活用する。

#### ■ 鉄道不通時におけるバスの代替輸送に際しての新バスターミナルの運用方法（イメージ）



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません